

医師連盟 TOTTORI

鳥取県医師連盟発行
発行人 岡 本 公 男

〒680 - 8585 鳥取市戎町317 鳥取県医師会館内
電話 (0857)27 - 5566

平成十八年度 予算案を可決!

鳥取県医師連盟は三月十八日、鳥取市・鳥取県医師会館において執行委員会及び総会を開催し、平成十七年度事業報告、平成十八年度収支予算案を原案通り可決、承認した。

予 算 案

通り予算案は承認された。
負担金はA 会員一人年額
三万円(日医連分二万円、
鳥取県医連分一万円)となっ
ている。詳細は別記のとおり。
平成十八年度収支予算案
額は収入支出合計二千四百
九十四万七千円で、原案の
り。

日本医師連盟と 国会議員との懇談会

日本医師連盟では、新霞 選挙区ごとに国会議員との
が関ビル内に日医連霞が関 懇談会を開催しており、鳥
研修室を開設し、各種の研 取県は去る三月十五日、三
修会、記者会見などに活用 重県との合同により開催さ
しており、昨年に続いて小 れた。



懇談会最後の集合

懇談会には日医連から宮 鳥取県からは自民党の衆
崎・桜井両副委員長、青木 参国會議員四名が出席され
常任執行委員(職名はいず た。石破氏はロシア出張の
れも当時)が出席し、中央 ため秘書が代理出席。田村
情勢報告の後、小選挙区ご 耕太郎参議員は委員会の合
とに懇談を行った。 間に駆けつけられ、超多忙

の様子で名刺交換のみで退席された。常田享詳参議員は最後まで熱心に意見交換され、赤澤亮正代議士は終了間際に来られ、国会の状況について懇切丁寧に話され、誠実さが伝わってきた。後日、鳥取県に帰ってからも懇談したい、と握手して散会となった。

県医連から長田委員長、岡本副委員長（職名はいずれも当時）、鳥取一区から宮崎博実・板倉和資・伊藤文利各先生、鳥取二区から作野嘉信・小林 哲各先生が出席した。

伊藤文利先生（前中部医師連盟委員長）から当日の感想が次のとおり寄せられた。



日医は全国三百小選挙区の担当責任者を一年間かけて順次日本医師連盟霞ヶ関

からの十二名と両県あわせて二十数名の賑やかな会であった。

研修室に集め、日本医師連

午後二時から始まり、最初

盟と地区医師連盟との意思

初に日医連副委員長の宮

疎通を図り、併せて選挙区

崎、桜井、寺岡の三先生挨拶

選出国會議員にも出席依頼

と発言、そして青木常任

し、医師の今置かれている

委員の追加などもあった。

現状を説明し、さらなるロ

日医側説明の大半は今回の

ビー活動をするとという目的

医療保険制度改革、診療報酬

でこの懇談会を立ち上げ、

酬ダウンについてであった

今年で二年目を迎えた。今

が、その内容は結論から言

回、県医師連盟から長田、

えば小泉首相在任中はいく

岡本の正副委員長、一区か

ら医学的に又論理的に医療

ら板倉、宮崎、伊藤の三委

の現状を訴えても、又、千

員、二区からは作野、小林

八百万人近くの患者負担増

両委員の計七名が参加し

反対署名を見せても、聞く

た。なお、この日は三重県

耳を持たない、だから、彼

と合同懇談会であり、同県

の退任後まで待とうと言う

ような消極的意見が多数散見された。その後の質疑応答の中で、岡本公男先生の質問は現在各種保健事業、ヘルス事業等において「医師外し」の傾向があるが日医として医師会の意思を毅然として厚労省に見せるべきだというもので、迫力があ

が始まる。結局始めから最後まで付き合って頂いたのは常田参議院議員と石破さんの代理秘書（本人はロシア出張中）だけ、国会審議のため田村参議院議員と赤沢参議院議員は最後の五分間ほど顔を見せ、名刺交換や儀礼的挨拶に終始された。

あった。三重県からの発言は社会保障費中でも医療費削減は阻止すべきだ、医療に市場原理を持ち込むな、署名運動は無意味だ等の意見発表もあった。日医側は皆さんの意見を必ず生かすよう努力する、これらの意見

常田先生とは医系議員のよしみでじっくりと我々の置かれている現状を聞いてもらい、理解を求め、有意義な懇談を持てたと思う。先生は現内閣の政策決定についての背景、プロセス等

見を国政に反映してもらおうよう地元選出国會議員と膝つきあわせてレクチャーしてもらいたい、そのためにこの懇談会の意義があるのだと答えていた。

午後三時からいよいよ地元選出国會議員との懇談会

元選出国會議員との懇談会

来年に控えているので今からよろしく頼みます、早め

に推薦をお願いしたいと
 ちゃっかり付け加えられ
 た。 近に感じる貴重な体験をさ
 せてもらい、中部医師会に
 帰ってから今日の体験を生

二時間の懇談会はあつと
 いう間に終わった。医政、
 いや政治というもが大変身
 にした。 かつよう努力したいと思
 を新たに高層ビルを後

日本医師連盟 役員決定!

日本医師連盟執行委員会
 が四月十八日、日本医師会
 館において開催され、岡本
 委員長、野島副委員長が出
 席した。 案のとおり就任すること
 が承認された。特には長田昭
 夫前委員長が会計監督者と
 して就任された。

会議で唐澤委員長が「会
 員とともに考え行動してい
 きたい」とのあいさつがあ
 り、武見敬三・西島英利両
 参議院議員のあいさつに続
 いて議事へ移った。 来年夏に予定されている
 参議院議員選挙の対応につ
 いての質問に対し、唐澤委
 員長は「早めに対応した
 い、ご意見をお聞かせいた
 だきたい」と答え、近いう
 ちに日医連推薦候補者を選
 定する考えを示した。

議事として日本医師連盟
 役員について協議され、提

唐澤委員長 あいさつ(要旨)

本日はお忙しい中ご参集
 いただき感謝申し上げます。
 本日の主な議題は日本医師
 連盟役員の承認である。若
 い医師の医師会離れが言わ
 れており、医政活動が低迷
 していると報道等言われ
 ている。集票能力の力が落
 ちているとのことである。

日本医師連盟の活動を活性
 化しないといけないという
 ことを考えるべきである。
 日医連としても一般会員の
 先生方にご参

加いただける
 ような取り組
 みをいろいろ
 と考えていき
 たい。本日は
 出席の先生方
 は各県の幹部
 の先生方であ

り、その背景には多くの郡
 市医師会の先生方がいる。
 日医連としては県医レベル
 とともに郡市の先生方に働
 きかける努力をしていき
 たい。口でいうのは簡単で
 るのは大変だろうが、一歩
 でも二歩でも会員の先生方
 と考え行動する姿勢で望
 みたい。地域の先生方の意
 識を踏まえた日医連であり
 たいと思う。一つには会
 員の方との対話、一つには
 国民の代表である国会議員
 に医政を語りかける。政権
 政党はもとより野党に対し

でも医療政策、医療制度
 をしっかり語りかけていき
 たい。今、医療制度改革法
 が審議されている。その内
 容はご承知のとおりである
 が、療養病床の削減など地
 域医療体制に大きな影響を
 及ぼす内容となっている。
 いずれも国の財政優先の考
 え方となっている。我々は
 国民が満足いく医療と医師
 の思う医療が同一歩調であ
 るという中から医療政策が
 出てきて、国民が健康で長
 生きできる制度であるべき
 と思う。そのための医療政
 策は医療を担当する我々が
 しっかり言っていく責任が
 ある。先生方の絶大なご
 支援をお願いしたい。



唐澤委員長あいさつ

平成18年度鳥取県医師連盟収支予算(案)

【収入の部】

(単位:千円)

款	項	予算額	前年度予算額	比較増減額	摘 要
1. 会 費 (49.02%)		12,230	12,330	-100	(県医連 @10,000円×418人=4,180,000円 日医連 @20,000円×402人=8,040,000円
	1. 会 費	12,220	12,320	-100	
	2. 特別会費	10	10	0	
2. 寄 付 金 (12.89%)		3,216	3,240	-24	8,040,000円×40%=3,216,000円
	1. 日医連寄付金	3,216	3,240	-24	
3. その他の収入 (0.01%)		1	1	0	普通預金利息
	1. 雑 入	1	1	0	
4. 繰 越 金 (38.08%)		9,500	9,000	500	前年度繰越金
	1. 繰 越 金	9,500	9,000	500	
収 入 合 計		24,947	24,571	376	

【支出の部】

款	項	予算額	前年度予算額	比較増減額	摘 要
1. 事 務 費 (0.8%)		200	200	0	
	1. 一般事務費	200	200	0	
2. 組織活動費 (15.19%)		3,790	3,790	0	執行委員会旅費、活動旅費 執行委員会諸費 国会議員、県会議懇談会費 医師連盟TOTTORI 3回発行
	1. 旅 費	2,000	2,000	0	
	2. 会 議 費	500	500	0	
	3. 懇談会費	1,000	1,000	0	
	4. 負 担 金	50	50	0	
3. 選挙関係費 (4.01%)		1,000	1,000	0	
	1. 寄 付 金	1,000	1,000	0	
4. 寄付交付金 (41.38%)		10,323	10,408	-85	@20,000円×402人=8,040,000円 @2,700円×290人=783,000円
	1. 日医連負担金	8,040	8,100	-60	
	2. 地区連絡費	1,500	1,500	0	
5. その他の経費 (38.62%)		9,634	9,173	461	
	1. 予 備 費	9,634	9,173	461	
支 出 合 計		24,947	24,571	376	

収支差引残額 な し